

みさと

No.74 2023
令和5年5月1日

議会だより



1月会議
3月会議

- 5年度予算 重点的な取り組み 2
- 予算審査特別委員会 4
- 一般質問 6議員が17項目 12
- 追 跡 「町有未利用地の利活用を」 23
- ふれあいコーナー 「小牛田農林高等学校剣道部」 25

仕組み 一般会計予算は 105億8941万円

[前年度比0.8%の減]

4つの主要課題

1. 教育環境の充実と 人材の育成

- ・新中学校校舎の建設工事開始(7月～)
- ・新中学校の校歌・校章協議
- ・「学校教育支援室」を整備し学校教育を総合的に支援
- ・中学校跡地を含めた町有地利活用の基本方針策定

2. 地域産業の発展と 雇用確保

- ・地域農業経営基盤強化促進計画の策定
- ・畑地化促進事業への円滑な移行支援
- ・土地利用型野菜の生産強化
- ・町内事業者による異業種交流会の開催

3. 人口減少の抑制と 高齢社会への対応

- ・お試し移住体験事業の開始
- ・地域おこし協力隊による地域活性化促進
- ・「生き生きと暮らせる健やかで安心な共生のまち」の推進
- ・過疎債を活用し、南郷地域の活性化と若者の定住推進

4. 子育て環境の整備

- ・不動堂放課後児童クラブ施設の供用開始と定員の拡大
- ・小学校未就学児の国民健康保険均等割額負担ゼロに
- ・町立保育施設、幼稚園の認定こども園への移行について協議・検討

3月会議が3月2日から20日まで開かれました。
一般質問では6人が17項目を質問、議案審議では
新年度予算や条例改正など28件を原案のとおり可
決しました。

令和5年度 各会計の予算額

会 計 名	令和5年度予算	対前年度比		
		増 減 額	増 減 率	
一 般 会 計	105億8941万円	△ 8503万円	△ 0.8%	
国民健康保険特別会計	29億1125万円	△ 344万円	△ 0.1%	
後期高齢者医療特別会計	3億4638万円	779万円	2.3%	
介護保険特別会計	26億8108万円	△ 1425万円	△ 0.5%	
水 道 事 業 計	収益的支出	7億2538万円	△ 399万円	△ 0.5%
	資本的支出	4億4120万円	3828万円	9.5%
病 院 事 業 計	収益的支出	7億6152万円	1349万円	1.8%
	資本的支出	1億4275万円	2712万円	23.5%
下 水 道 事 業 計	収益的支出	9億6309万円	1178万円	1.2%
	資本的支出	13億5986万円	9203万円	7.3%

(1万円以下を四捨五入、△はマイナス)

重点的な取

注目事業はこれ

新中学校整備推進事業
1億6605万円



7月から校舎などの建設工事を開始する予定になっています。

農作物産地形成作付転換
促進事業 262万円



土地利用型野菜の生産を支援し、魅力ある農業の展開を図ります。

定住促進奨励事業
2425万円



お試し移住体験事業を開始し、美里町への移住を推進します。

不動堂放課後児童クラブ
運営事業 2497万円



不動堂放課後児童クラブを新設し、5年4月から利用開始します。

可決

5年度予算審査

予算執行に13項目の意見

5年度予算の7議案は、予算審査特別委員会の分科会で、詳細な審査を行いました。3月17日に行われた連合審査では、3人の委員が町に質疑しました。

特別委員会では各分科会の審査報告をもとに、予算7議案は原案のとおり可決すべきとの審査報告書を、議長に提出しました。



予算審査特別委員会
委員長 村松 秀雄

審査報告書の特別委員会の意見は次のとおりです。

- 1 歳入について
 - ①町税等の収納向上に、各課連携のもと努められたい。
 - ②国民健康保険税の収納率向上に万全を期されたい。
- 2 総務費について
 - ①持続可能な社会を目指し、人づくり、地域づくり、まちづくりに努められたい。
 - ②将来を見据え、施設等の適正管理に努められたい。
- 3 民生費について
 - ①放課後児童クラブ運営事業については児童の安全面に留意するとともに正規職員の配置、指導員の確保を図られたい。
 - ②保育所、放課後児童クラブの感染症対策に万全を期されたい。
- 4 衛生費について
 - ①新型コロナウイルス感染症対策については、住民の安全安心を確保するため、国の動向を注視し、迅速に対応するよう図られたい。
 - ②増加する空き家等対策に万全を期されたい。
- 5 農林水産業費について
 - ①商品開発、ブランド化、販路の確保等、付加価値の向上を図り、農業の活性化を推進されたい。
 - ②新規就農者の確保、担い手の育成、支援に努められたい。
- 6 商工費について、新規事業者及び既存事業所の支援により一層努められたい。
- 7 土木費について、町道等の整備・維持管理については、計画どおりに推進されたい。
- 8 消防費について、消防団、自主防災組織や関係団体と連携し、総合防災対策の充実を図られたい。
- 9 教育費について、いじめ防止、不登校対策に万全を期されたい。
- 10 後期高齢者医療特別会計について、健康寿命の延伸に向け、さらなる住民の健康意識向上を図られたい。
- 11 水道事業会計について、有収率向上に努められたい。
- 12 病院事業会計について
 - ①計画を立て施設の改修を図られたい。
 - ②医師確保になお一層努力されたい。
- 13 下水道事業会計について
 - ①公共下水道の計画的な整備促進を図り、水洗化率の向上に努められたい。
 - ②下水道施設の計画的な維持管理に努められたい。

5年度予算チェック

予算編成の概要を問う

総括質疑

人員配置は、適正か

問 5年度人員配置は、第4次定員適正化計画の中で271人の計画である。昨年度と比べ人員が減つ

た部署の業務はどのように行っていくのか。

答 271人の中には町三役、任期付職員を含んでおり、実質は263人で計画を下回っている。4月1日人事異動の人



体制が変わる教育委員会総務課

員配置で、必要な業務、施策などに合わせて適正な配置を行い対応する。

問 教育総務課職員人件費17人で、昨年から5人増となっているが、どのような組織体制か。

答 4年度から課長1人増やしている。5度は学校教育支援室を新設、学校教育支援員3人を会計年度職員から任期付職員に身分を変更して配置、室長1人を増員する。

電気料金高騰をどう反映

問 物価高騰の影響、電気料金の値上げに伴う経費負担の増加をどのように捉えて5年度の予算編成をされたのか。

答 昨年11月の電気料金状況の踏まえて予算を計上している。

過疎対策の計画は

問 5年度の過疎対策事業計画は。

答 南郷地域の生き生きセンター改修事業、病院施設運営支援事業、町道整備事業、排水路整備事業、十王山公園環境整備事業、なんごう幼稚園改修事業である。



過疎対策事業で整備

予算審査 分科会審査内容

担当課ごとに慎重審査

予算審査は二つの分科会に分かれて、担当課ごとに詳細な審査を行いました。

総務、産業、建設分科会

各課連携の下

収納向上を

が可能となり収納環境整備が進んでいる。

町税収納向上対策として、口座振替、コンビニやスマートフォンアプリでの収納、更に5年度よりQRコードによる納税

一方、空き家の増加傾向による固定資産税などの賦課決定が進まない課題もあり各課連携の下、努められるよう求めた。

持続可能な社会を

人口減少の抑制と高齢化社会への対応施策取り組みとして、地域おこし協力隊、移住定住に意欲を持つて推進されるよう求めた。

付加価値向上を図り、農業の活性化を

集落営農法人化の推進、畜産農家の世代交代の促進を図り、次世代を担う農業者の農業経営の展開を推進し農業の活性化にさらなる支援を求めた。

新規、既存事業者の支援を

町内の新規事業者や既存事業所の事業拡大を支援し、若手農業者ワークショップ、中小、小規模企業ワークショップ開催、地元産品紹介なども合わせて推進されるよう求めた。

総合防災対策の充実を

自然災害による局地的な豪雨・恒常的に発生する地震災害などの対策には避難計画、備えなどが必要である。地域防災組織の自主的な活動、関係団体との連携、協力、支援体制の構築が重要と考え、消防団員の確保などを含め対策の充実を求めた。

所管課

総務課、企画財政課、まちづくり推進課、防災管財課、税務課(国保税除く)、徴収対策課、会計課、産業振興課、建設課、下水道課、農業委員会事務局、議会事務局



県庁での地元産品販売



出初め式での行進

教育、民生

分科会

国民健康保険税の 収納率向上に万全を

公平な賦課徴収が特別会計の健全な運営につながる。納税者の話に耳を傾けながら公平性に留意し、各課連携を図り万全を期すよう意見とした。

児童の安全に万全を

放課後児童クラブ運営事業については5年度に新不動堂放課後児童クラブが開所する。登録児童増加による適切な指導員確保に最大限の努力をし、児童の安全に万全を期すよう意見とした。



不動堂放課後児童クラブ内覧会

また、マスクの着用など規制が緩和される。これまで同様、流行状況を注視し、子どもたちや職員
の安全に万全を期すよう求めた。

適正な接種体制確保を

新型コロナウイルス感染症が5月より5類に引き下げられる。住民の安全安心を確保するため、国の動向を注視し、適正なワクチン接種体制に万全を期すよう求めた。

空き家等対策を万全に

空き家の件数が増加傾向にあり、管理不全な空き家の増加が懸念されている。管理不全な空き家に対し、勧告・命令・公表も視野に入れ、万全を期すよう求めた。

いじめ防止、

不登校対策を

4月より心のケアハウスが開設される。新しい環境に早くなれるよう児童生徒に寄り添い、気軽に通うことができる環境確保に努め、いじめ、不登校対策に万全を期すよう意見とした。

健康意識向上対策を

健康寿命の延伸に向け、さらなる住民の健康意識向上を図りたい。
町のイベントに健康ブースの開設が計画されている。開催状況を注視し、健康フェア、健康ポイントなど、さらなる事業展開を図るよう求めた。

水道の有収率向上を

地震や石綿セメント管の老朽化による漏水事故が増加し、そのたびに有収率が低下している。石綿セメント管すべての更新が終了するのは11年度



町民の健康を支える南郷病院

となっており、今後も漏水事後による有収率の低下が懸念されることから万全を期すよう求めた。

機能維持・利便性の向上

病院施設の老朽化が進んでいるが、近年コロナ関連の修繕を優先し、施

設の計画的な改修に着手できていない。地域医療確保のため長期的な計画を立て、施設の改修をし機能維持・利便性の向上を図るよう求めた。

所管課

教育委員会教育総務課、町民生活課、健康福祉課、長寿支援課、子ども家庭課、税務課(国保)、水道事業所、南郷病院

PFI方式の 新中学校整備事業は

問 新中学校整備等事業

業務委託料の内容は。

また、民間資金は活用
されているのか。

答 新中学校整備等事業
業務委託料の1億589
0万円は、造成工事、調

整池の工事、外周りの側
溝工事、一部歩道の工事
などである。ほかに地域

活性化業務の2中学校跡
地の活用と町の活性
化についての会議開催の
経費も含まれる。

PFI方式での大きな
民間資金活用はないが、
メリットとして民間のノウ
ハウ、発想力、発案力、
ほかにコストを抑える効
果がある。



新中学校の側溝工事

児童手当給付基準は

問 児童手当の特例給付
の詳細は。

答 所得制限限度額は扶
養親族の数により違い、
子ども1人扶養している
場合660万円になる。

所得上限限度額は、子ど
も1人扶養している場合
896万円である。

また、所得制限の撤廃
については国の動向を注
視し検討していく。

スポーツ施設の 利用料は

問 町内のスポーツ施
設利用料の計画値積算
根拠は。

答 指定管理者の公募時
に提出された提案書に記
載されている2年度から
6年度までの施設利用料
収入が基本であり、2年度
の施設利用料の計画値に
ついては、平成30年度の8

施設の利用料合計279
万円を元に8施設全体で
0.2%の増加を見込み、
279万円とし、各施設
の利用料の計画値を設定
している。3年度以降は、
前年度の施設の利用料の
計画値の合計より8施設
全体で1%の増加を目指
し、各施設の利用料の計画
値を設定している。



農林業系 汚染廃棄物処理は

問 農林業系廃棄物の
収集運搬業務、処理業
務、搬入業務委託料の詳
細は。

答 収集運搬業務委託料
550万円は、牧草の保
管農家から仮置場である
南郷第4集落排水施設に
一旦運び、搬出する委託料
である。

処理業務委託料26
05万円は、2年度から



仮置されたままのほだ木

実施している稲わらの焼
却処理業務委託料188
7万円およびほだ木、牧草
の県外の民間事業者で
の処理業務委託料71
8万円である。

搬入業務委託料97
6万円は、ほだ木、牧草
の仮置き場から処理業
者へ搬入する委託料で
ある。

災害被災者に支援の手を



いつくるか分からない自然災害

災害被災住宅の 速やかな復旧を

(要旨) 災害の発生により被害を受けた町民に対し、町が災害救助法の適用を受けない場合において災害救助法に準じた支援を行い、速やかに復旧を図り住民の生活の安定を支援するため、本条例を制定するものです。
賛成全員(可決)

質疑

問 過去の新潟県糸魚川市のような大規模火災はこの災害に含まれないか。

答 この条例は自然災害に対して行われるので火災は含まれない。

問 修理の範囲に解体費用は含まれるか。

答 応急修理を支援内容にしているため、解体費用は含まれない。

問 内閣総理大臣が定める基準に準じ規則で定める額とあるが、具体的な基準額は。

答 一つの被災住宅につき、65万5000円以内である。

問 申請から支給までの手続は。

答 被災者が応急修理の申込書を町に提出し、町が適当と認めた場合、町が直接業者に修理依頼し、修理費用を支払う。

問 基準額を超えた場合、住宅の持ち主の負担か。

答 超えた分は持ち主が支払う。

問 修理業者は町が登録制をとるのか。

答 施工業者は町の登録業者として登録し、町が直接見積もりを依頼、決定し業務を進めていく。



犯罪被害者を 地域で支える

(要旨) 犯罪被害者などを支援するため、その基本理念や町の責務を定め、犯罪被害者などを地域社会で支え、安心して暮らせることができる地域社会の実現に寄与するため本条例を制定するものです。
賛成全員(可決)

質疑

問 支援金の給付額は。

答 遺族支援金は30万円、障害支援金は10万円、死体検案費用支援金は10万をそれぞれ上限とする。

問 支援金支給の流れは。

答 遺族や本人から申請され、警察などの状況確認を経て、給付が適当であるか町が確認して支給を決定する。

問 犯罪などとは具体的にどのようなものか。

答 故意の犯罪行為に当たると、例えば殺人や強盗致傷、傷害、危険運転致死傷などの不慮の死を遂げた犯罪が該当する。

問 社会的問題になつていいる特殊詐欺の被害での自殺は対象にならないか。

答 犯罪行為に対して不慮の死を遂げた方に対するもので、自殺は対象としない。

※すべての議案の一覧は美里町公式ホームページに掲載しています。



町道の整備進む

《主な歳出》

- ・公共施設整備基金積立金…9100万円
- ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金…△ 900万円
- ・児童手当給付事業…△ 1737万円
- ・不動産放課後児童クラブ施設建設工事請負費…△ 1236万円
- ・予防接種業務委託料…△ 2000万円
- ・道路改良工事請負費…4394万円
- ・公園施設改修等工事請負費…2622万円
- ・新中学校整備等事業業務委託料…△ 4428万円

《主な歳入》

- ・地方消費税交付金…3399万円
- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金…1270万円
- ・子ども・子育て支援整備交付金…△ 3171万円
- ・町有地土地売却収入…△ 2861万円

一般会計

（要旨）1億6432万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ117億3175万円としました。

賛成全員（可決）

質疑

今後の整備事業を見越して

問 公共施設整備基金積立金9100万円の内容は。

答 工事請負契約を締結した金額2億2495万円と、工事変更額305万800万円と、予算額2億4036万円の差額分を減額する。

なぜ減額か

問 新中学校整備、公共施設の長寿命化計画に基づく修繕などに充てるため基金に積み立てる。

答 新中学校整備、公共施設の長寿命化計画に基づく修繕などに充てるため基金に積み立てる。

問 不動産放課後児童クラブ1236万円減額は。

答 工事請負契約を締結した金額2億2495万円と、工事変更額305万800万円と、予算額2億4036万円の差額分を減額する。

着々と進む道路整備

問 道路改良工事請負費4394万円の内容は。

答 国の補正予算で追加内示があり、それに伴い梅ノ木不動堂線の路肩拡幅工事200メートルの工事費を追加するもの。

資材の遅れが影響

問 公園施設管理事業が、繰越になった要因は。

答 小牛田公園は、国の予算の追加内示があり年度内の完了は難しい。牛飼公園は、大型遊具の更新を予定していたが、資材の納期が遅れたためである。

経年劣化で

画面が不明瞭

問 幼稚園施設管理修繕料50万円の内訳は。

答 ふどうどう幼稚園で6台の防犯カメラを設置しているが、屋外の3台に不具合があり、新しいカメラを設置する費用である。

地震で被害を受けた 公共施設に

問 災害見舞金160万円は。

答 4年3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震で、被災した公共施設などに関する見舞金を宮城県町村会からいただいたものである。



路肩拡幅が進む梅の木不動堂線

ワクチン接種は 今年度も実施

一般会計

(要旨) 1億2767万円を追加し、歳入歳出予算の総額を107億1708万円としました。

賛成全員(可決)

質疑

収束に向けて

問 新型コロナウイルスワクチン接種事業の今年度のスケジュールは。

答 5月からの春開始接種は、2回目まで終了し

た65歳以上、基礎疾患を有する方、医療従事者を対象に実施。9月以降の秋開始接種は2回接種を終了している5歳以上の全ての方を対象に実施する。

げんきドームに併設

問 南郷子育て支援センター移設改修工事の内容は。

答 南郷児童館からげんきドーム内の空き教室に移設するための改修工事、幼稚園南側を出入口として利用するため通路の設置やカメラ付インター

ホン、看板などを設置する。

安全安心の対策を

問 スクールバス車内置き去り防止安全支援装置購入費の内容と台数は。

答 5年4月1日から送迎バスへの事故防止安全管理装置の装備が義務化される。スクールバスの一番後ろの席にスイッチを取り付け、車内のチェック漏れがないようにするシステムを、スクールバス9台に設置する。



一般会計補正予算

(要旨) 1億343万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ118億9607万円としました。

賛成全員(可決)

質疑

申請期限が延期

問 マイナポイント設定支援業務委託料の156万円の詳細は。

答 マイナポイント第2弾の対象となるマイナンバーカード申請期限が5年2月末まで延長されることに伴い、2カ月間の設定支援業務を委託する。1階ロビーに2台の端末を

設置し、オンラインでオペレーターとやり取りをして、マイナポイントの申請手続ができるようにする。

電気料金高騰に支援

問 農業水利施設緊急支援事業に対する補助金470万円の詳細は。

答 農業水利施設、揚水機場、排水機場、調整樋門などの水利施設に対し、電気料金や重油代などの燃料費高騰分に、掛かり増し経費の4分の1を補助する。

新たな伴走型支援

問 出産・子育て応援給付金1200万円の内容は。

答 出産応援給付金は4年4月1日以降に妊娠届を提出する方を145人と見込み、1人当たり5万円を支給。子育て応援給付金は4年4月1日以降出産をする方を95人と見込み、1人当たり5万円の支給を行う。

1月会議
1月26日

ズバリ 町政を問う

一般質問

議員が行財政全般について執行機関に疑問点や方針を問うものです



平吹 俊雄 16

① 化粧坂駅前線歩道の整備は
② 学校給食費の無償化を



柳田 政喜 15

① 電子版と紙版の連携を
② もっと踏み込んだ対策を



赤坂 芳則 14

① 過疎対策と各種事業の充実を
② 新中学校整備の見直しを



伊藤 牧世 13

① 学校教育支援室とは
② いじめ・不登校の対応に不安

3月2日から6日に一般質問が行われました。
今回は6人の議員が、施政方針や学校教育の環境整備
についてなど17項目にわたり、町の方針を問いました。
次回の一般質問は6月13日に行われます。

議会の映像を配信しています。

議場に来ることができない方も、パソコンやスマートフォンから、いつでも議会の映像を見ることができます。

議会当日は、本会議の映像を生中継で配信しています。

その後は、録画映像として配信しています。

美里町公式ホームページ
(URL:<http://www.town.misato.miyagi.jp>)
から「町議会へようこそ」



「YouTube」にアクセスしていただき、
ご覧ください。



各議員のページでお知らせできなかった質問を抜粋しています。

一般質問あれこれ：19



村松 秀雄 18

① 工事費変更で補助金額は
② マスク着用は個人を尊重



佐野 善弘 17

① 事業費を圧縮し建築を
② 畑地化促進事業とは

学校教育支援室とは

〈教育長〉不登校対策を支援する



伊藤 世 牧 藤

問 不登校対策でのタブレット活用は。
教育長 不登校対策に限らず授業のライブ配信を実施している。不登校の児童生徒から申し出が

あった際は、タブレットで授業に参加できるようにしている。
問 児童生徒への具体的なアプローチには、学習支援だけでなく様々な体験が必要になると考える。外出のきっかけとなる音楽やスポーツ、イベントなどの情報発信や提供が必要ではないか。
教育長 子どもの支援は、学校と教育委員会が一緒に進めていく必要がある。勉強だけではなく、興味を示すものに沿って導いていくなど、地域と家庭と学校が連携し進めていくことから、地域の協力もいただきたいと思います。

問 新たに設置する学校教育支援室の詳細は。
教育長 不登校対策や子どもの困り事など学校の課題を把握し支援策を検討する。常設型の学習スペースを確保し、児童生徒個々の心の状態に応じた適切な指導を行い、学校への登校を含め社会的自立に向けた支援を行う。児童生徒の居場所づくりが重要であると判断し、南郷庁舎2階を選定した。



子どもの居場所づくりに地域の協力を

いじめ・不登校の対応に不安

〈教育長〉常時、専門員を配置する



新中学校への不安払拭を

問 中学校統合に関するいじめ・不登校の対応に不安が出ている。新中学校では専従のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを常駐配置するとしているが。
教育長 新中学校では町が独自で採用し、常時配置する。

問 統合後の高校受験対策に不安の声がある。その対策はどう考えているのか。
教育長 統合による環境の変化が良い方向へ向かうよう、生徒、保護者、学校などの意見を聞きながら、事前交流、教育内

容のすり合わせ、生徒の心のケアなど協議し準備を進める。学習支援を統一することも必要と思う。
問 中学校が1校となることで、事前交流事業における地域が町全域になるが考えは。
教育長 昨年度からペア学習を一体的に拡大する段階取りで進めている。初めは南郷中学校区、5年度は不動堂中学校区と小牛田中学校区と拡大し、6年度では全体的に進める案である。

過疎対策と各種事業の充実を

〈町長〉各種補助金の充実を図りたい



あか さか よし のり
赤 坂 芳 則



憩いの場 十王山公園

問 南郷地域の活性化について構想は。

町長 過疎対策事業債を活用し、雨水排水工事や側溝改修工事、十王山公園環境整備、デマンドタクシーの運行や南郷病院への補助を実施していく。

問 旧みなみ幼稚園解体後、若者向けの宅地として無償提供してはどうか。

町長 町営住宅の建て替えと併せて、若者向け住宅の建設、土地分譲も含めた一帯の構想を描きたいと考えている。

問 二郷第一住宅の建て替え計画は。

町長 5年度に基本構想、7年度に建て替えたいと考えている。

問 商工業、観光物産振興のために、更なる財政支援と行政との密なる連携が不可欠と考えるが。

町長 公益性や事業成果、行政負担の在り方などを踏まえ、適切な財政支援と連携及び協力体制の確保が不可欠と認識している。

問 新中学校建設に係る物価変動への対応について、総額6億2567万円の建設工事費増額変更が追加提案されたが、契約とはいかなるものか。

町長 この契約は双方審議に従って誠実に履行するものであり、物価変動への対応は契約条項に基づき行うものである。

問 屋上にプールを作ることは多額の工事費がかかるだけでなく、維持管理費も膨大と見込まれる。地上に作るか、武道館と入れ替えてはどうか。

町長 地上への設置の方が基礎工事費が高くなる。武道館と入れ替えた場合、プールの日当たりが悪くなり、水温が上がりがらいため温水プールとする追加設備が必要となり工事費が高くなる。



工事費増額変更 大丈夫か

新中学校整備の見直しを

〈町長〉慎重に進めて行く

問 厳しい町財政、物価高騰の時世において、不動堂中学校の武道館、南郷のスイミングセンターや給食センターなど、今ある既存の施設を有効利用することも検討すべきでは。

町長 既存施設の利用も検討した上で定めており、現在進めている内容で整備を行う。

問 大きな住民負担を後世に残さないためにも今見直すべきでは。

町長 国・県に働きかけ町の負担をできるだけ少なくできるように努力していく。

電子版と紙版の連携を

〈町長〉技術的に検討し進めていく

問 新しいハザードマップに、令和元年東日本台風や昨年の豪雨災害はどのように反映されているのか。

町長 全戸に配布したハザードマップには反映していない。災害で冠水した町内の主要道路は、大雨時の避難所冠水場所マップにまとめ、町のホームページ上で公開している。

問 住民にはどのように知らせるのか。

町長 地域で行う防災の意見交換会などで周知を図っていく。

町長 ハザードマップは、国土交通省の「ハザードマップ作成の手引き」により作成、被害情報については、修正できる電子版を作成している。

問 電子版と紙版のハザードマップは連携されているのか。

町長 連携はしていないが、町のホームページに誘導し、見て頂けるようにしている。

問 別にQRコードの一覧をつくり配布し、過去の災害情報も見れる形にできないか。

町長 技術的に可能かどうかも含め、今後作業を進めていく。

一般質問

問 海抜で色分けしており、実際の水の流れを加味していない。肝心の避難経路が把握できない。なぜ過去の災害をハザードマップのほうに活かせなかったのか。



やなぎ だまさき 柳 田 政 喜



過去の災害情報掲載を望む

もっと踏み込んだ対策を

〈町長〉地域防災として進める

問 4年度の田んぼダムの取り組み状況は。

町長 堰板設置による普及促進を目的に、被害の発生頻度が高い中埜地区を選定し、農地8・7ヘクタールに実施した。

問 理解促進の取り組みについては、取り組み圃場にのぼり旗を設置し、中埜小学校5年生を対象とした田んぼダム出前講座を実施、また、田んぼダムシンポジウムを開催した。

問 5年度の取り組みは。

町長 中埜地域で126ヘクタール、堰板380枚を設置する方向で、現

在地元の保全組織などと調整を進めている。

問 実際の効果はどれくらいと考えているのか。

町長 具体的な数値でどれぐらいの効果があるかといった算出については難しい。

問 田んぼダムは一時的な初期の効果しかないが、もっと踏み込んだ水害対策を。

町長 地域防災という観点から推進はしていきたい。一方で治水対策をしつかり進めるよう、県、国のほうにしっかりと要望していく。



令和に2度も水没した中埜地区の圃場



ひら ぶき とし お 雄

化粧坂駅前線歩道の整備は

〈町長〉今後歩行区間などの確保を検討



歩道のない町道化粧坂駅前線

問 道路事業のうち、歩行スペースの確保などの道路整備とあるが、化粧坂駅前線は300メートル程度歩道がなく、通勤通学の際や雨、雪などの時は大変危険な状況になっている。安全で安心な維持管理及び整備に努める観点からどう考えているのか。

町長 歩行者などの安全確保のため、今後歩行区間などの確保を検討していく。

問 この場所は、JRの建物が建っているところで、この区間だけが歩道がない状況で、特に雪道では大変危険であり積雪があると前に進めなくなる。地元の方から要望が出されたようだが、町としてどう捉えているか。

町長 新たな用地を取得して道路を拡幅していくのは難しい路線であるが、一部路肩に関して舗装されていない部分があるので、舗装を行い歩行空間を確保する。

学校給食費の無償化を

〈町長〉他自治体動向を鑑み検討

問 国のアンケートによると、夫婦の子どもの理想の数は2・3人、現実には1・3人となっており、その理由として①子育てや教育にお金が掛かり過ぎる、②高齢で産むのが嫌、③これ以上育児の肉体的・心理的負担に耐えられないなどで、そのうち①の経済面の一つとして給食費を無償化する市町村が増えている。本町としても、少子化対策及び子ども子育て支援の一環として取り組んだらどうか。

町長 今後の町の財政状況や周辺自治体の動向を鑑みながら検討していく。

問 無償化は町の財源などもあり、小、中学校同時に行う事は難しいと思う。しかし、実施している自治体では、マイナ

バーカード取得者、夏休みを除く11カ月、第2、3子以降、小学6年生・中学3年生、8月から3月の2学期など、色々な方法で無償化を進めている。親の財政的な負担を少なくする意味でも早急に検討してほしい。

町長 無償化に集中してしまうとなにかを削らなければいけない事もあるので、一般的な広い視野に立ってこの問題を解決

しななければならない。今は後には国・県に要望し、町としてどこまでできるのか、どのような形で進めたらよいのかも含めて検討していく。



給食費の無償化を

事業費を圧縮し建築を

〈町長〉民間ノウハウで低コストに

一般質問

問 新中学校整備の造成工事の進行状況を伺う。

町長 校舎など建設予定地、及び防災調整池予定地の盛土が完了し、現在は沈下状況の推移を観測している。

問 設計の変更、資材価格の高騰も含めて精査し、事業費をなるべく圧縮した中で建築するようPFIパートナーズと町長の話し合いが必要では。

町長 民間のノウハウを活用し、可能な限り低コストでできるよう現在精査しており、代表の方にも努力をお願いする。

問 少人数学級（30人未満学級）の編制と少人数指導の導入の進行状況は。

町長 少人数学級の編制は、引き続き宮城県教育委員会との協議を行っている。少人数指導の導入は、今後、より具体的な内容の検討を行うっていく。

問 就学援助制度でオンライン学習通信費の支援が予定されており、その認定基準の見直しで、年間約730万円の負担増になるが、検討する考えがないか。

町長 準要保護世帯が多くなっている状況も踏まえ、検討していかねばいけない。



ひろし のざき さの 野 善 弘



工事が進む新中学校

畑地化促進事業とは

〈町長〉円滑な移行を促す

問 畑地化促進事業の具体的な内容について伺う。

町長 水田において畑作物の本作化に取り組み農業者に対し、水田の畑地化利用の円滑な移行を促すとともに、畑作物の需要に応じた生産を促進することを目的とする。

問 本町で予測される対象面積は。

町長 要望は約42ヘクタールとなっている。

問 「5年ルール」とは。

町長 4年度以降1度も水張りを行わない水田は、水田活用直接支払交付金の交付対象水田から除外する方針が示され、原則5年に1回は水稲を作物することという方針が国から示された。

現在では「原則水稲作付」または「1カ月以上水張りを行う」という要件の緩和が行われているが、詳細については今後、国から示される。



水田での大豆収穫



むら 村 まつ 松 ひで 秀 お 雄

工事費変更で補助金額は

〈町長〉経済状況で単価を見直す



7月着工予定

問 新中学校建設は7月着工に間に合うか。

町長 学校教育環境整備室と事業者などが月1回の定例会を行い、造成工事の進捗と実施設計の打合せを行い、5年7月着工を進めている。

問 物価高騰による建設費への影響は。また、全体工事費はどのくらいに修正されるか。

町長 物価高騰を15%と見込んだ場合、設計変更も含め6億3000万円増額になる。

全体工事費は、実施設計の精査中であり、工事

費の積算が完了したら示す。

問 3階のプール設置は水の重さで心配だが。

町長 震度6強か7の地震が来ても耐えられる設計である。

問 初見込んだ補助金9億2200万円は、工事費が増えたら補助金も増額になるか。

町長 補助金の基本は、施設の面積に応じている。しかし、単価については、その年の経済状況により

見直されるため、総額はまだ計算できない。

マスク着用は個人を尊重

〈町長〉町民への周知を進める

問 マスク着用緩和による町の対応と公共施設利用者への対応は。

町長 3月10日より庁舎職員は窓口対応を除き個人の判断とした。また、コミュニケーションセンターなどの指定管理の施設も同様とする。

来庁者や施設利用者に対しては、マスク着用は、原則求めない。

問 保育所、保育園でのマスク着用は。また、放課後児童クラブにおいてはどうか。

町長 4月1日以降、園児や児童、送迎の方には着用を原則求めない。職員は、当面着用する。

問 南郷病院はどうか。

町長 厚労省より医療機

関への訪問時はマスク着用が推奨されている。来院される方や職員は、マスク着用し院内感染防止に努める。

問 幼稚園や小中学校での対応は。

町長 マスク着用の見直しは、4月1日からだが現時点で文科省から示されていない。教育委員会などで協議し対応する。

問 マスク着用が個人の判断に委ねられたことにより、着用者、非着用者同士での違和感を与えないよう周知に努めるべき。

町長 国、県、メディアも行っている。同じく町も周知を進めていく。

これまで室外では原則不要、室内では原則着用としていましたが
令和5年3月13日から
マスク着用は個人の判断が基本となります

ただし、以下の場合には注意しましょう

演劇の為に、感染を避けたいために
マスクを着用しましょう

受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問する時

通勤ラッシュ時など混雑した電車・バスに乗車する時

ご自身を感染から守るために
マスク着用が効果的です

高齢者 高齢者施設を訪問する方 妊婦

重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時

マスクのルールが変わります

平吹俊雄

伊藤牧世

赤坂芳則

南郷、不動堂放課後

児童クラブの人数は

問 昨年開始した南郷放課後児童クラブと今年の4月に開始する不動堂放課後児童クラブの児童数と拡大分の人数は。

町長 南郷放課後児童クラブの4年4月1日の児童数は、56人、定員は45人から80人に拡大、不動堂放課後児童クラブは、同時点で120人、定員は120人から160人に拡大した。

快適な住民バスの運行を定住化促進に向けて

問 遅延などの住民バス運行管理の状況は。

町長 運行委託会社から連絡を受け、住民からの各種問い合わせに対応している。

問 町内の学校始業時間に合わせた運行時間の調整は行えないのか。

町長 発着時刻は、町内の高等学校始業時間を考慮し編成している。

問 停留所の車内アナウンスは行っていないのか。

町長 どの路線でも車内アナウンスを行っている。

問 住民が安心して使える状態を今後も望むが。

町長 公共交通会議で住民が本当に乗りやすい運行を含め検討する。

問 お試し移住体験事業の具体的な方策は。

町長 本町への移住に興味、関心がある方に、町の美味しい食材や郷土料理を味わい、農作業や町内の施設を巡る体験などを通し本町の魅力を知っていただき移住につなげていく考えである。

問 集客のために検討していることは。

町長 来ていただく際の交通費、土田畑村など町内の宿泊施設を利用した宿泊費の2分の1、1人で来た場合は3万円、家族で来た場合は6万円を上限に補助を考えている。

問 鉄道の町をアピールするためにSLの定期運行は考えられないか。

町長 SL運行には多額の予算が伴うため、かなり厳しい。それに代わるものを今後、JRとも協議し考えていきたい。

議会の活動 (12月会議から3月会議まで)

美里町議会 (本会議)	3日
議会運営委員会	2日
総務、産業、建設常任委員会	2回
教育、民生常任委員会	3回
全員協議会	1回
議会活性化調査特別委員会	1回
議会活性化調査特別委員会 運営小委員会	1回
議会活性化調査特別委員会 議会懇談会合同会議	1回
議会活性化調査特別委員会 第1分科会	3回

議会活性化調査特別委員会 第2分科会	3回
議会だより編集特別委員会	4回
宮城県町村議会議長会 町村議会議員講座	1回
大崎地域広域行政事務組合議会(美里町選出議員)	
議会全員協議会	1回
宮城県後期高齢者医療広域連合議会(美里町選出議員)	
定例会	1回
議会全員協議会	1回

1月会議、3月会議で全議員に配布しました。

件名	提出者	受付年月日
会計年度任用職員の不安定雇用問題に対する緊急要望書	公務非正規女性全国ネットワーク (はむねっと) 代表 渡辺百合子	4年 12月21日
日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情	コドソラ 代表 与那城 千恵美	4年 12月26日
電気料金等高騰などに対する土地改良区への支援要請について	美里東部土地改良区、江合川沿岸土地改良区、涌谷町土地改良区、大崎土地改良区、鳴瀬川沿岸土地改良区 各理事長	5年 1月18日
庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情	宮城県民の暮らしと安全を守る会 代表 菊池 軌夫	5年 2月17日

陳情書等一覧

※陳情書とは、紹介議員のある請願書以外のものをいいます。

町に提言

常任委員会の政策研究テーマについての報告書が提出されました。抜粋してお知らせします。

移住、定住の促進について 総務、産業、建設常任委員会

全国的な少子高齢化が進む中、都市部への人口集中もあり、地方の過疎化が進んでいる。第2次美里町総合計画・美里町総合戦略を軸に定住化を促進するための対策について、常任委員会で検討を重ねてきた。以下、政策提言とする。

移住、定住施策 体制の確立

移住施策、地域の活性化、地域共生施策を横断的に取り組む課を新設し、推進すべきである。

空き家・

空き地バンクの活用

空き家・空き地所有者にアンケートを実施し、空き家・空き地バンク制

度へ誘導することにより、登録件数増につなげる。不動産業組合などと連携し、空き家の活用促進として家財処分費、改修補助金を制度化、空き家所有者と買いたい、借りたい人の利用者マッチングを図るべきである。

移住、定住者には 仕事の確保は必須事項

空き家物件見学、農場見学、町内企業案内ツアー、おためしハウス体験などの施策に取り組むべきである。

移住、定住促進 補助金の拡充

- ① Uターン支援住宅改修補助金
- ② 新婚生活応援補助金

- ③ 同居家族支援住宅補助金

移住、定住相談窓口、 サポーターなどの設置

移住後も気軽に相談ができる環境支援体制の構築を検討すべきである。

施策促進するための 財源確保は重要な課題

国・県補助金、過疎債、ふるさと納税などを有効活用するべきである。



政策に反映を求める



山岸総務、産業、建設常任委員長

政策を

健康で長生きするために 教育、民生常任委員会

健康福祉課、長寿支援課、美里町社会福祉協議会との意見交換を行い、高齢者の保健・介護予防事業への参加・持続への取り組みが必要であることを確認した。

静岡県伊豆市と小山町では様々なデータを活用し、職員が積極的に活動している。健康ポイントは参加している住民の意識向上が見られ、低予算で一定の成果を上げている。また、「通いの場」を増やすため各地域に積極的な指導を行い補助金制度を設けている。さらには、介護予防・健康づくりのイベントなど、あらゆる世代が参加しやすい環境づくりを実施している。

これら町の現状や先進地の取り組み状況を踏まえ、当委員会のテーマについて協議・検討した結果、町民が「健康で長生きするために」さらなる介護予防・健康づくりに取り組む必要があることから、町当局に対し以下提言し、政策に反映されるよう強く要望する。

町民の健康意識向上をはかること

健康フェアなど町主催の健康イベントを開催し、町全体の機運を高め、町民の健康意識向上を図ることを求める。

健康づくり参加意欲の向上と持続化をはかること。

健康ポイントを設け、健康づくり、ボランティア活動などに参加することで得られるポイントに応じ景品を受け取れるなどの取組を行い、住民の健康事業への参加意識、持続化の向上を図ることを求める。

「通いの場」を増やすため取り組む各団体に対する補助制度を設けること。

現在各地区で行われている通いの場は、社会福祉協議会による用具の貸出しや人的負担、参加者や地域の費用負担で行われている。町としても設

置経費、活動経費、家賃補助などを行い、通いの場の活動の「翼を担うべき」と考える。

介護予防・健康づくりの事業にあらゆる世代が参加しやすいよう、休日・夜間の開催も行うこと。

町民の生活スタイルは様々であり、休日、夜間にしか参加できない方も大勢いる。全ての住民が参加できる事業開催を求め。



柳田教育、民生常任委員長

※20、21ページ掲載の常任理事会報告書の全文はホームページでご覧いただけます。

URL: <https://www.town.misatomiyagi.jp/>

(町議会・監査→委員報告書)



町民目線で見やすい広報に



講師を招いて 研修しました

3月28日議会だより編集特別委員会の研修会を開催しました。

全国町村議会広報コンクールの審査員をされている議会広報サポーター芳野政明先生を迎え研修を行いました。

改めて議会広報の基本を見直し、全国の優秀な議会広報紙を実践事例として参考にしながら、みさとまち議会だよりがより町民目線で、分かりやすく見やすい広報になるよう更なるステップアップを目指します。

町民目線で、議会の活動が「見え、分かりやすく」お知らせ（広報）し、住民の意見を「聞き、反映する」（広聴）企画を図ります。

佐野 善弘

広報を進化させる写真活用やキャプション、見出しなど様々な手法や役割について学びました。広聴企画も取り入れ充実した紙面に努めます。

伊藤 牧世

議員は町民皆さんの代弁者です。より多くの町民の皆さんの声が市政に反映されるよう、積極的に皆さんの元へ足を運びたいと思います。

赤坂 芳則

研修の成果が出て議会だよりが一步前進したら、もう一度芳野先生に來庁していただきたいですね。

吉田 二郎

高談雄并（こうだんゆうべん）。内容を分かりやすく皆様に伝えるのが編集委員会の役割。皆様のご意見をお待ちしています。

鈴木 恵悦

常々『議会だより』は、議会が町民に分かりやすく伝わる事が一番、と先輩議員に言われて来ました。これを忘れず励んでまいります。

前原 吉宏



町村議会広報 全国コンクール 編集・デザイン部門

「奨励賞」

みさとまち議会だより第70号が第37回町村議会広報全国コンクール編集・デザイン部門で「奨励賞」をいただきました。また、第42回宮城県町村議会広報選考会においてみさとまち議会だより第72号が「入選」をいただきました。

追跡 あれどうなってんのしゃ

令和元年度総務・産業・建設常任委員会の研究テーマとして取り上げた、町有未利用地の活用についての「その後」を報告します。

町有未利用地の利活用を

旧みなみ幼稚園は、昭和54年に建設・開園され、平成17年3月に閉園するまで多くの園児を育ててきました。閉園後は手付かずのままに今日まで来ましたが、施設の老朽化に加え、地震・台風などの被害も加わりかなりの劣化が進んでいました。



老朽化が著しい旧みなみ幼稚園

どうなった

5年1月から3月まで、4年度の補正予算2013万円で旧みなみ幼稚園総面積：2034㎡の解体工事が完了しました。

5年度より計画が進められる佐野第一住宅と併せて、住宅用地として整備され、人口増加、定住促進、過疎地からの脱却が期待されます。今後も引き続き、未利用地を生かしたまちづくりを求めています。



解体整備工事完了

みなさんの声

議会だよりのクイズにお寄せいただいたハガキやメールのメッセージを一部ご紹介いたします。

美里町に住んで

引越して10年がたつて、子供達にどこまで美里町は考えてくれるのかを願って議会だよりを見えています。未来ある子供達が住みやすい町になるように願っています。

(45歳)

いつも読んでいます

議会だよりは、美里町で今何が行われているのか、分かりやすく書いてあり、いつも読んでいます。これからも発行を楽しみにしています。

(31歳)

出来川改修を

議会だよりを毎回興味深く読ませていただいています。出来川沿いに暮らしている私としては「出来川改修」を注意深く見守っています。活発な質疑応答を期待しています。より細かな情報公開も併せてお願いします。

(71歳)

世界が平和に

美里町国際交流協会の活動、とても素晴らしいと思います。世界中の人々が手を取り合い、平和な世の中でありたいと思います。

(73歳)

莫大な新中学校整備費

新中学校整備には莫大なお金が必要だろうとは思っていましたが、51億という予想以上の数字で驚きました。新制服も拝見しました。現代的なデザインですが、LGBTQなども多様性への配慮があればと...少々残念です。NEW校舎の「完成見学会」とかあると嬉しいですね。

(36歳)

通学方法はどうなるの

新中学校への通学方法については、できるだけ早目に住民との意見交換を行うべき。

(71歳)

議会だよりが楽しみ

「みなさんの声」の中に10歳の子の意見も載っていて素敵だと思いました。いろんな世代の方読んでいただきたいです。今後も楽しみにしています。

(72歳)

空き家対策が気になります

いつも楽しく議会だよりを見ております。町内は空き家も増えてきましたが、町として対策はどのようにお考えでしょうか？

(70歳)

表紙写真



4月4日(火)に、なんごう保育園で入園式が行われました。少し緊張しちゃうけど、おともだちと楽しい保育園生活の始まりです。

YELL

町内で活動している
団体を紹介します。

～エール～



小牛田農林高等学校 剣道部

Q 入部したきっかけは？

A ・兄が小牛田農林高校剣道部で活躍している姿を見て、兄よりも活躍し、超えたいと思い入部しました。
 (佐々木賢太：田尻中出身)
 ・正しく強い剣道で日本一を取りたいと思い入部しました。
 (田口泰輝：若柳中出身)
 ・私が所属していた道場の先生が小牛田農林出身であったことがきっかけです。(森澤稀匠：八軒中出身)

Q 議会だよりの感想・議会に一言!

A これまで、政治や議会の活動について興味がなかった高校生も、選挙権が18歳に引き下げられたことをきっかけに関心が高まっています。議会の活動や地域の状況を知る上で議会だよりは大変ありがたいです。高校生や若い人たちが元気に、そして美里町全体が元気になる取り組みを期待しています。(今野先生)

Q 活動内容をどうぞ!

A 小牛田農林剣道部は1908年の創部。100年を優に超える長い歴史があります。これまで数多くの名選手を輩出し、1950年代後半から60年代にかけては全国高校総体（インターハイ）や、国民体育大会（国体）で団体優勝を果たしています。
 昨年度は、県高校総体で男子個人、女子団体・個人の3部門で優勝し、インターハイへ出場しました。また、県新人大会では男子団体・個人で優勝し、全国選抜大会への出場を果たしています。現在、男子24名、女子11名、総勢35名の部員達が「日本一」を目標に日々稽古に励んでいます。地域の皆様に応援していただけるよう精一杯がんばります。



がんばれ農林剣道部
目指せ全国制覇

クイズ



問 ○の中には、どんな数字、文字が入るでしょうか。

- ① 5年度一般会計予算は
○億8941万円
- ② 5年度予算審査
予算執行に○項目の意見
- ③ 常任委員会報告 ○○を町に提言

応募方法

ハガキまたはEメールに答え、住所、氏名、年齢、ご感想などを記入の上、議会事務局までお寄せください。正解者の中から抽選で5人に記念品を差し上げます。

あて先

〒987-8602
美里町議会事務局 議会だより係
E-mail:gikai@town.misato.miyagi.jp

締切日

令和5年5月31日(水)(当日消印有効)

前号の当選者 おめでとうございます
(応募29名、正解者27名)

- ・道家 仲子 さん (不動堂6区)
- ・佐藤 千秋 さん (不動堂5区)
- ・菅原 さく子 さん (中組)
- ・渡部 博子 さん (的場柳原)
- ・木村 喜美子 さん (練牛)

前号の答え

(11・一般・議会)

皆さん議会を傍聴してみませんか

次回の会議

予定

6月13日(火)午前10時から

一般質問通告書は、ご希望の方に無料で提供します。

議会ライブ YouTube配信

会議の映像をYouTube配信しています。
ホームページからご覧になれます。

議会だよりでお伝えしきれない会議の記録は、美里町公式ホームページまたは近代文学館や南郷図書館でご覧になれます。



美里町公式ホームページ

(URL:<https://www.town.misato.miyagi.jp/>)の「町議会・監査」→「会議録」から閲覧できます。

編集後記

温暖化のためか、近年春の到来が早く、本町の桜開花は3月末から聞こえてきました。2年から始まったマスク着用も個人の判断によりますが終わりが見えてきました。

3月会議では、一般質問6人が17項目について質問し、報告3件、28議案、議発1件、5年度予算105億8941万円が審議され可決しました。

物価高騰下ではありませんが、7月から新中学校校舎の建設が始まり、形が見えてくるころ美里中学校の校歌・校章が決まっていること

とと思われます。本町の一大事業であることから、誰からも親しまれ、誇りを持てる中学校になるよう期待します。

本誌が議会広報全国コンクール編集・デザイン部門奨励賞、県町村議会議長会広報選考会に入選、これを励みに今後も皆様に關心を持つていただける広報を心掛けてまいります。

(前原吉宏)

発行責任者

議長 鈴木 宏通

議会だより編集特別委員会

委員長 佐野 善弘

副委員長 伊藤 善弘

委員 赤坂 善弘

委員 吉田 善弘

委員 鈴木 宏通



暖かな日差しに咲くすももの花

